

日本気象学会関西支部 第28期第10回常任理事会議事録

日時：2010年5月13日（木） 18時00分～19時40分

場所：大阪合同庁舎第4号館 大阪管区气象台

出席者：佐々木、塩谷、向川、石岡、大澤、藤井、瀧、諸岡（常任理事）
井口、江崎（幹事）、大林（全国理事）

議 事

- 1 第28回役員の補充と第29期役員決定
第29期役員補充と第29期役員決定について了承された。
- 2 支部長の互選
第28期の支部長として佐々木常任理事が交替することとなった。6/26の総会で第29期の新支部長決まる旨確認された。
- 3 2010年度理事会、総会、年会
資料（案）を基に討議し、以下の発言がなされた。
 - ・年会は研究発表会となるが、5/20を締切で講演題目をHPとメールで募集している。集まり具合を確認する。
- 4 電子化された過去文献ファイルの公開と関西支部ホームページ容量アップ
昨年の総会で過去の文献ファイルの電子化と公開が決定され、公開を希望しない論文について、5月末を期限として連絡を受け付けているが、現時点で1件も申し出がない。関西支部のホームページ容量アップについては、現在の契約プロバイダでは、電子化されたすべての論文が掲載できないことが説明され、了承された。質疑等については以下の通り。
 - ・電子化はどこまで終わっているのか？←例会予稿集、夏季大学は終わっている。
 - ・事務局から提案されたメーリングリストはリスト1件あたり50人までであり、使い勝手がわからない。←最近フリーのメーリングリストもあり、使い勝手についてもっと良いところがあるかもしれないので、井口幹事及び前任の西幹事に確認してもらい、あれば代案を提案してもらうこととなった。
- 5 第32回夏季大学
前回理事会でテーマの「台風」が決まり、その後講演題目と講師が以下の通り決定した。
 - 「台風の基礎」 上野氏（気象研究所物理気象研究部）
 - 「台風予測の最前線」 國次氏（気象庁予報部予報課太平洋台風センター）
 - 「台風の高解像度シミュレーション」 坪木氏（名古屋大学地球水循環研究センター）ポスター作成は奥田氏（気象協会関西支社）に依頼済み。2案作り、決定後防災研で印刷する。

夏季大学のホームページは、準備をしておき、総会後に公開することとなった。また、「夏季大学にはどれ位の人が集まるのか」との質問に対して、「去年から開催日を週末の1日だけとしたことが良かったのか、100名位集まった」との回答があった。

秋季大会実行委員会

1 秋季大会概要

シンポジウムでは5人に講演してもらおう計画である。向川理事より全体のタイムスケジュールを知らせて欲しいとの発言があり、決まり次第連絡することとなった。

2 会場

事務局から会場の「京都テルサ」の会場図を用いて、会場配置、懇親会会場やポスター掲示場所等の説明があった。会場経費については、見積もりを再度依頼中することとなった。

3 役割分担検討

副実行委員長については、第28期の塩谷理事が引き受けていただくこととなった。懇親会は独立会計で行う。懇親会費は参加費と合わせて集めるため、会費の管理は会計が担当することとなった。懇親会の最後の挨拶は、次回開催地の名古屋の人にお願ひする。

会場担当は、アルバイトの手配なども行うが、人数が少ないのもう少し配置すべきである。当日の配置については、昨年の福岡の資料をもらって検討することとなった。

昨年の福岡のシンポジウム誌の印刷経費は、125,000円であった。印刷部数について福岡に問い合わせ、その結果を向川理事に知らせることとなった。

懇親会など、直接担当者がコンタクトできるよう、開催会場の担当者に手配しておくこととなった。

4 その他

東京の例をみると、最後の2ヶ月が追い込みであり大変である。

以上